

広報たかつき

知る 広がる 好きになる

# TAKATSUKI

Days

令和4年

11

No.1416

特集

熱狂！  
サッカーを  
楽しむ。

CLOSE UP /

1. 子育てのこと

頼れる場所があります

2. 高槻市PRムービー公開

連載

キラリスポーツ

「弓道」

たかつき歴史アラカルト

「松永久秀の肖像画」

週末どこ行く？ 何食べる？

おでかけDAYS

「今城塚エリア」

※発行時の表紙の写真は、ウェブ上での掲載期間について、令和4年11月28日までとして編集したもので、現在、ご覧いただくことはできません。この表紙は別の写真を表紙用に差し替えて再編集したものです。

カタール・ワールドカップ直前！  
高槻出身のサッカー日本代表・守田英正選手インタビュー。

# 高槻で育んだサッカーの夢を、 世界の舞台で開花させたい！

11月20日にカタールで開幕するサッカー・ワールドカップ。この世界最大級のスポーツイベントに日本代表として出場が期待される、高槻市出身の守田英正選手に話を聞きました。

守田英正選手は、高槻市立第九中学校、金光大阪高等学校と、高槻市内の学校でプレーし、流通経済大学を経て平成30年に川崎フロンターレに入団。Jリーガーとして活躍した後、ポルトガルのCDサンタ・クララに移籍します。日本代表にはプロデビューの年に選ばれ、カタール・ワールドカップの予選でも主力としてプレーし、出場の原動力となります。今シーズンから、C・ロナウドも輩出したポルトガルを代表する強豪チーム、スポルティングCPへ移籍しました。

—— スポルティングCPの雰囲気や環境はいかがですか？

「環境は本当に素晴らしいです。国内に明確なライバルチームがあり、リーグを中心にタイトルを獲らなくてはならないクラブなので、プレッシャーの中でプレーすることの難しさもある反面、試合に勝つための向上心や一体感を感じます」。

—— いいクラブに移籍しましたね。スポルティングCPはUEFAチャンピオンズリーグ(UCL)にも参戦します。ヨーロッパ最高峰の大会で戦える気持ちはどうですか？

「UCLは子どもの頃からの目標の一つだったので、その舞台に



高槻市立第九中学校サッカー部のキャプテンとして、10番をつけて全国中学校サッカー大会でプレーする守田選手(中央)。

立ってプレーできることが本当にうれしいですね。幸いにも初戦のフランクフルト戦ではアシストすることもできたので、これを継続していきたいです」。

## ボールと友達だった少年時代。

—— UCLで活躍とは、素晴らしいサッカー人生です。そのスタートは高槻ですよ。サッカーを始めたのはいつ頃ですか？

「サッカーを始めたのは幼稚園の頃です。5歳年上の兄がいるので一緒によくボールを蹴っていました。小学生になり、高槻清水FCでは、ボールと友達になればいいということをコーチに教

えられて、とにかく楽しみながらプレーしていたのを今でも覚えています」。

—— 高槻市立第九中学校サッカー部では、3年生の時にキャプテンとして全国大会に出場。全国で3位という輝かしい成績を残されています。

「顧問の先生方やOBの方々の尽力があって本当に素晴らしい3年間でしたし、3年生の時に全国3位になったのはいい思い出です。欲を言えば優勝したかったですけどね」。

—— 志は高く、ですよ。それからのサッカー人生へのビジョンが見えてきたりしましたか？

「漠然とはあるんですけど、プロサッカー選手になるという目標は常に持っていました。小学校や中学校の卒業文集を今見ると、将来の夢としてプロサッカー選手になるということが書いてあります。高槻九中サッカー部の卒業文集には、『日の丸(代表)の10番を背負う！』とまで書かれていますね(笑)」。

—— その大きな夢もこれからかなうかもしれません。代表の話が出たところで、ワールドカップ予選では本当に素晴らしい活躍

でした。主力選手として、カタール・ワールドカップの出場が期待されますが、守田選手にとって、ワールドカップとはどのようなものでしょうか？

「UCLと同じように、子どもの頃からの大きな目標の一つです。国を背負って戦える喜びを感じていますし、サッカーをしてこれ以上の幸せはないのではないかと思います。ワールドカップが開催される11月までに、スポルティングCPで日々努力することが、日本代表としてワールドカップに向かうための準備にもつながります。本大会まであと数カ月ですから、これまでに以上に入念さが必要ですね」。

## ワールドカップへの想い。

—— グループリーグでは過去にワールドカップ優勝経験がある強豪が含まれる厳しいグループに入りました。まず初戦のドイツ戦が大事になってくると思います。

「そうですね。ドイツは、身体的な部分で勝つことは難しい相

※発行時、ここに掲載していた写真は、ウェブ上での掲載期間を令和4年11月28日までとしていたものであるため、現在、ご覧いただくことはできません。ご了承ください。

手だと思っています。それでも1対1で負けないことがとても重要。その上で我慢することや一体感を持ってプレーできる日本人らしさ、日本のよさをピッチ上で表現できればいいですね」。

—— 3戦目ではスペインと対戦。守田選手は中盤の選手ですが、今売り出し中のペドリ、ガビ、名手ブスケツ選手らとのマッチアップは想像するだけでワクワクします。

「彼らはボールを持ってプレーすることを好むので、ドイツとはまた違う戦い方になると予想しています。相手の中盤は強力ですが、そこでの争いで勝たなければなりません。また、スペインは育成年代からA代表まで一貫してスタイルを築くサッカー。昨年の東京オリンピックの準決勝、日本vsスペインの試合は、対策を考えるのにいい材料になると思います」。

—— そのほか、ワールドカップの見どころがありましたらお聞かせください。

「ヨーロッパで戦う日本代表のプレーヤーには、自分を含めてこの夏に新しいクラブに移籍した選手が多いですよ。ワールドカップ前だから、所属クラブを変えずに大会に臨んだ方がい

いという考えもある中、チャレンジすることを決意した選手も少なくない。自分はワールドカップまでにもう一段階成長できるきっかけになると思い移籍しましたが、このチャレンジがプレーにどう表れるか。そのあたりを見ていただくと、よりワールドカップを楽しんでもらえるのではないかと思います」。

——ワールドカップ、UCLと世界で活躍する守田選手。これからはサッカー人生は続きますが、理想とするサッカーとはどのようなものですか？

「理想は、相手がイヤがるサッカーです。自分がやりたいことをするよりも、相手がイヤがるのが重要。プレー中は常にそのことを意識していますね」。

——高槻でサッカーを始め、大学、Jリーグ、海外と強く、魅力的なチームで自分のサッカーを磨かれてきたから、そういう境地に達したのかもしれないね。その原点となる高槻市や高槻のサッカーのよさを教えてください。

「高槻市は本当に自然が多く豊かな場所。サッカーも昔から盛んで、サッカーをする人間にとっては恵まれた環境です。それはとても大切なことですが、一方で環境に惑わされない甘えない気持ちも必要だと考えています」。

——最後に、今高槻でサッカーをしている、これから始めようとしている子どもたちに、高槻出身サッカープレイヤーの先輩としてメッセージをお願いします。

「夢をかなえることは、努力次第でどうにでもなります。可能性は無限大なので、明確な目標を持って逆算して行動することが大切。そして、なによりサッカーを楽しんでください」。

※インタビューは9月中旬に行われました。



カタール・ワールドカップ 日本代表試合スケジュール	
11月23日(水・祝) 22:00	vs ドイツ
11月27日(日) 19:00	vs コスタリカ
12月2日(金) 4:00	vs スペイン

※時間はいずれも日本時間

### 中学時代の 恩師に 聞きました

「あの頃から、今でも、  
律儀でタフな選手です」

高槻市立芝谷中学校サッカー部顧問  
隠岐尚武さん



守田選手が高槻市立第九中学校サッカー部でプレーしていた時に顧問をしていた隠岐さん。「1年生の頃から試合に出



守田選手の中学校卒業時のサッカー部の文集。

ていて、体は小さかったのですが、技術と戦術眼は秀でたものがありました。3年生では主将を任せましたが、ピッチ上はもちろん、学校生活でも

レズに常に落ち着いたキャプテンでした」。同級生が「Jリーグの下部組織にスカウトされたのに、自分には声がかからなかったのは、内心悔しさもあったのでは？」と隠岐先生。「そんな時でもイラついたり投げやりにならずに、正しく向き合って自分の力にしていた。精神的にも昔からタフでしたね」。今も守田選手の試合後には必ずLINEを送るという隠岐さん。9月7日のUCLのフランクフルト戦終了後にメッセージを送ると、すぐに「いつもありがとうございます！最終的にアシストして勝つことができてよかったです」という守田選手からの返信がありました。

Check!

## 世界中が熱狂するカタール・ワールドカップの見どころ



高槻市出身の守田英正選手の活躍に期待したいカタール・ワールドカップですが、4年に一度しか開催されないこの大会に出場するのは並大抵なことではありません。なぜなら、ワールドカップを主催する国際サッカー連盟への加盟数は現在211の国と地域。これは国際オリンピック委員会加盟数の206を上回ります。世界中で盛んに行われているサッカーで、各大陸の予選を勝ち抜いた32チームしか出場できないからです。選手も各チーム26名しか選ばれず、世界最高峰の大会に出場することはまさしく快挙。前回のロシア大会では、やはり高槻市出身の東口順昭選手(ガンバ大阪)がメンバーに選ばれていましたが、残念ながら出場はなりませんでした。

もちろん日本代表の試合に注目したいですが、それ以外にも見どころはいっぱい。まずは、35歳のメッシ(アルゼンチン代表)、37歳のC・ロナウド(ポルトガル代表)、37歳のモドリッチ(クロアチア代表)

たスーパースターたちが最後のワールドカップになると言われていること。その雄姿とプレーをしっかりと目に焼きつけておきたいものです。

優勝争いにも注目です。まだ30歳でありながら、あるインタビューで「カタールが最後のワールドカップになる」と決意の回答をしたネイマール率いるブラジル代表は、サッカー王国と言われながら2002年の日韓大会以来優勝がありません。ネイマールの気合が栄冠につながるか？ また前回優勝のフランスは、旬のスーパースターと言えるムバペの活躍で、1958-1962年大会のブラジル以来の連覇となるか？ そのほか、スペイン、イングランド、ドイツ、アルゼンチンあたりが優勝争いに絡んできそうです。

過去の大会でもニューヒーローたちが生まれてきましたが、今回も19歳のペドリ(スペイン代表)、22歳のフォードン(イングランド代表)、ブラホビッチ(セルビア代表)、アントニー(ブラジル代表)などの若手選手の活躍も楽しみ。この大会からスーパースターへの道を歩み始める可能性もあります。

## たかつきDays vol.4 我が家のストライカー



# 大人も子どもも熱狂する、高槻のサッカー。



活気あふれる  
少年サッカー。



高槻市サッカー連盟  
U-12 委員長  
木村宣之さん

「この大会を長く続けられていることは、私たちのモチベーション」。高槻市サッカー連盟の木村宣之さんがそう語るの、「U-12 高槻サマーフェスティバルJC杯」。今年で45回を迎える、全国の少年サッカー大会の草分け的存在で、高槻市を中心に多くのチームが集まり、サッカーを楽しみます。「うれしいのは、出場した小学生が大きくなって指導者として戻り、高槻サッカーに関わってくれることです」と木村さん。高槻のサッカーは綿々と広がり続けています。



オレンジ色のユニフォームを着てプレーしているのは、第39回大会（平成28年）には優勝もしている塚原サッカークラブの選手たち。日本代表の守田英正選手も、高槻清水FCの一員として第30回大会に出場しています。

安満遺跡公園で

## ガンバ大阪 キッズサッカー教室開催!

安満遺跡公園では、ガンバ大阪のコーチ陣によるキッズサッカー教室が昨年7月から開催されています。毎月2回、幼稚園年少組から小学校6年生まで70分のレッスン。Jリーグ仕込みのトレーニングを体験できます。11月は12日（土）、26日（土）に実施予定。申し込みは安満遺跡公園のHPなどで先着順で受け付けます。今年4月からは、週1日コースの「ガンバ大阪ジュニア高槻スクール」も開校しています。



## シニアだって こんなに元気!



ともに87歳の最年長ツートップ。柴町にお住まいの横山和男さん（左）と塚脇在住の蔵力さん（右）。

毎週金曜日（月の1週目を除く）に、青少年運動広場で行われている「シニアサッカー教室」。教室といってもレッスンというよりは、試合をしながらワイワイとサッカーを楽しむスタイル。平均年齢75歳の精鋭たちが、必死にボールを追いかける姿は、いつまでも元気で体を動かせる喜びにあふれています。60歳以上なら誰でも参加できるので、希望者は気軽に高槻市サッカー連盟（☎072-677-2285）に問い合わせを。

取材日は40人以上が集まったシニアプレイヤーたち。毎回35人前後が参加します。



高槻市サッカー連盟  
会長  
北脇助三郎さん

「サッカーを通して、  
チームワークの大切さと思いやり、  
感謝の気持ちを育ててほしい」。

昭和27年に創設された高槻市サッカー連盟で、52年もの間会長を務める北脇さん。「長いことやってこれているのも連盟のメンバーが助けてくれたおかげ。サッカーは自分一人ではできないスポーツだから、チームワークや思いやり、感謝の気持ちが大切だと思いますよ。生涯学習、生涯スポーツ、自己表現の場所づくりの一環として連盟は活動しているので、多くの人たちが楽しんで参加して、プレーし続けてくれればうれしいですね」。少年少女からシニアまで、イキイキとしながらボールを蹴る姿があちこちで見られる高槻市。会長の想いは、間違いなく届いているに違いありません。



Instagram高槻市公式アカウントで「たかつきDAYS」11月号特集のこぼれ話を配信中!